

令和6年度 ヨコハマ市民まち普請

まちづくりに関する市民提案の公開審査会



2次コンテスト

2025

1/26 SUNDAY 10:15~17:45 [予定]

入場無料・申込不要

YouTube 同時配信
当日10:15から配信



横浜市役所アトリウムにて

※多くの来場者があった場合、入場を制限する可能性があります。

最大
500
万円
助成

私たちのまちを私たちがつくる
きっとまちが好きになる

令和6年度 2次コンテスト対象提案一覧 (発表順)

- 1 師岡熊野神社「いの池」愛護会 (港北区)
いの池を中心とした地域資源循環システムの再生と維持
- 2 あおぞら広場をつくる会 (金沢区)
あおぞら広場
- 3 生麦事件参考館リユースプロジェクト (鶴見区)
歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり
- 4 二つ台みーとみーと PJ (保土ヶ谷区)
シェアキッチンを備えた多世代交流拠点の整備
- 5 『あつまれ! なみき』ワーキンググループ (金沢区)
あつまれ! なみきの・みんなで・きずくみらい
- 6 いちよう坂商店街カフェ (港南区)
集い・学び・楽しむ。カフェで助け合いの輪をつくる。
- 7 「アスレの森」を残す会「あすのこ」 (金沢区)
あつまれ 「アスレの森」
- 8 パレット境木ベース運営委員会 (保土ヶ谷区)
懐かしい街の記憶を次世代へと繋ぐ拠点
- 9 弘明寺 チーム NECTA COLLECT (南区)
生き辛い世の中を生きる青少年のための居場所作り
- 10 熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト実行委員会 (港北区)
熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト

令和6年度 ヨコハマ市民まち普請事業

まちづくりに関する市民提案の公開審査会

2次コンテスト

ヨコハマ市民まち普請事業とは？

市民の皆さんが主体となって行う、地域の課題解決や魅力向上のための施設整備を伴うまちづくりに対して、支援、助成を行う事業です。二段階の公開コンテストで選考された提案に最大500万円を交付します。今年度も、「子育てプラス」として、コンテストの選考件数や支援体制を拡充して実施します。

プログラム program

予定



10:00 開場

10:15 開会
まちづくり提案の発表
公開質疑・選考

17:45 閉会

2次コンテストの詳細はこちらから。

提案集は1月26日9:00からご覧いただけます。



事業の流れ (令和6年度)

自らが主体となり施設整備を通して地域の環境整備を行いたい市民(3人以上)

令和6年2月13日(火)~令和6年5月31日(金)
整備提案募集

令和6年7月21日(日)
1次コンテスト

2次コンテストに向けた活動

- 活動助成金として最大30万円を交付
- まちづくりの専門家を紹介
- 市職員が伴走支援

令和7年1月26日(日)
2次コンテスト

最大500万円の整備助成金の交付を受ける提案が決定されます。

まち普請事業の応募の相談・事前登録は、年間を通して受け付けています。お気軽にお電話またはEメールでお問い合わせください。

TEL 045-671-2679

Eメール tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp

審査員 (ヨコハマ市民まち普請事業部会委員)

すぎさき かずひさ (部会長)
杉崎 和久 法政大学法学部教授 (都市計画・まちづくり)

あさひな
朝比奈ゆり 東京ボランティア・市民活動センター専門員 (市民活動支援・みどり環境)

うえまつ まみこ
植松満美子 松ヶ丘自治会会長 (まちづくり・市民活動)

かわはら すずむ
川原 晋 東京都立大学都市環境学部教授 (市民事業・観光まちづくり・都市デザイン)

ごとう ちかこ
後藤智香子 東京都市大学環境学部准教授 (まちづくり・住環境・こども環境)

とりうみ ちえこ
鳥海知恵子 市民委員 (公募)

ひご きみこ
肥後貴美子 市民委員 (公募)

まつむら まさはる
松村 正治 NPO法人よこはま里山研究所理事長 (市民協働・環境社会学)



事務局 横浜市/横浜市住宅供給公社/認定NPO法人市民セクターよこはま

問合せ 横浜市都市整備局地域まちづくり課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

TEL 045-671-2679 FAX 045-663-8641

Eメール tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp

FSC®森林認証紙、ベジタブルインキ(植物油インキ)等環境に配慮した用紙、印刷資材を使用しています。

